

都議会議員選挙の結果…  
染谷ふみ子さん大健闘

公約実現へ奮闘します



日本共産党の染谷ふみ子候補（助産師、党地区医療・福祉の相談室長）は、前回得票の1.7倍、1万1434票を獲得、大健闘しました。告示の37日前に

出馬表明という短期間の活動にもかかわらず、急迫しましたが、あと一步届きませんでした。

野党共闘前進への期待や、無党派層の方々からも、共感が数多く寄せられました。

また、国政での政治の私物化や共謀罪法の強行など、暴走政治をストップさせたいという、大きな声も寄せられた結果となりました。

全都的に自民党の歴史的な大惨敗が特徴です。日本共産党は改選議席2増の19議席へと躍進しました。かかげた公約実現へ引き続き奮闘します。

議員の姿勢が問われる

簡易採決を主張しながら、継続審査に

自民・みなと政策会議・公明が謝罪

保健福祉常任委員会に提案された請願「コンビプラザ品川保育園における継続運営に関する請願」（代表ほか八十九名）の採決をめぐって、「判断を誤った」など異例の事態になりました。

請願内容は、「コンビプラザ」が開発により、保育園が使用できなくなるため継続運営の支援を求めるものです。質疑終了後、共産党の委員長が請願への態度表明を各会派に求めたところ、「簡易採決で」と声がでました。

港区議会の長年の慣例で、「簡易採決」とは、全員が一致して採決するということ意味です。

委員長は当然の流れとして、簡易採決＝請願の採決を図りました。ところ

が、自民党、公明党、政策会議の委員が、請願採決の流れは「まずい」と思ったのか、急に意見を出してきて、採決ができない状況となり、長時間（二時間十分）の休憩をとることになりました。

再会後の委員会冒頭、自民・みなと政策会議・公明党の委員が、請願者を長時間待たせたことや、議会運営に迷惑をかけたことに対して謝罪しました。

謝罪のあと、態度表明の申し出があり、各会派が態度表明をおこない、継続審査となりました。

この請願には、紹介議員に一七名も署名をしながら、継続審査にするなど、区民に理解が得られるのでしょうか。

みなと保育サポート事業のひとり親世帯

第1子保育料が無料、  
年収約360万円未満対象

第2回定例会で、認定こども園及び認可保育園に通う年収約360万円未満のひとり親世帯の第1子の保育料は半額でしたが、4月から無料になりました。それを受けて、みなと保育サポート事業のひとり親世帯の保育料の軽減について検討が行われ、みなと保育サポート事業（定期利用保育）を利用している年収約360万円未満のひとり親世帯の第1子の保育料が無料になりました。施行は7月1日ですが、4月1日に遡って適用となります。

か。

また、長年の議会の慣例を知らないのか、審議に集中していなかったのか、議会ルールの無知さや不誠実さもあらわになりました。

〈各会派の謝罪〉

**自民（池田こうじ議員）** 請願者の皆様にお時間を取らせていただきまして大変申し訳ありませんでした。また委員会の運営にご迷惑をおかけ致しましてお詫び申し上げます。

**みなと政策会議（清家あい議員）** 判断に迷ってしまいました。委員会運営に混乱を招き、請願者の方々には大変長い時間お待たせしてしまったことを心からお詫び申し上げます。

**公明（近藤まさ子議員）** 請願者の皆様には長時間お待たせをしてしまいました。申し訳ありません。また、委員長には議会運営、委員会運営にご迷惑をおかけ致しました。心よりお詫び申し上げます。

初のサービス付き高齢者集合住宅（六本木）



シティハイツ六本木の区営住宅の建て替えに伴い、区営住宅（五十戸）、サービス付き高齢者向け住宅（単身用三十戸）、障害者のグループホーム短期入所含む（十二戸）、自転車駐輪場（収容台数四百二十八台）の建築が終わり、十月入居を目指して準備が進められています。

港区で初となる「サービス付き高齢者向け住宅」は三十戸整備されます。日本共産党は家賃設定に対して、低所得者も入居できるように、所得に応じた家賃設定となるよう、機会ある毎に質問で取り上げてきました。その結果、所得に応じて六段階（二万四千元～二万八千八百円）の家賃設定が実現しました。

芝浦小への特別支援学級設置に関する請願

共産党は採択主張  
自民・公明などが継続審査に

請願者は、知的障害を伴う娘さんの小学校入学にあたり、自宅からも近く、姉、兄も通っている芝浦小学校に入学させたいと、二年前から特別支援学級の設置を要望してきました。しかし、設置されなかったため今年度に通学級へ入学したものの、支援学級のある学校への転校を勧められ、平成三十年四月開設を目処に早急な対応を求めているものです。

区民文教委員会の審議で、区は現在四校に特別支援学級があるので、新たな設置は考えていないとの態度でした。党委員は保育園からの友だちや姉、兄などの助け合いなどを通じて絆を強めていることから、請願の採択を主張しました。しかし他の会派すべてが継続審査を主張したため継続となりました。

所属委員会がかわりました



大滝 実

建設常任委員長/交通・環境等対策特別委員/エレベーター等対策特別委員/議会運営委員



いのくま 正一

区民文教常任副委員長/交通・環境等対策特別委員/議員団幹事長



風見 利男

保健福祉常任委員/東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員長/議員団副幹事長



熊田 ちづ子

総務常任委員/行財政等対策特別委員/議員団長

困ったときは  
すぐ相談を  
弁護士と区議会議員が  
ご相談に応じます